

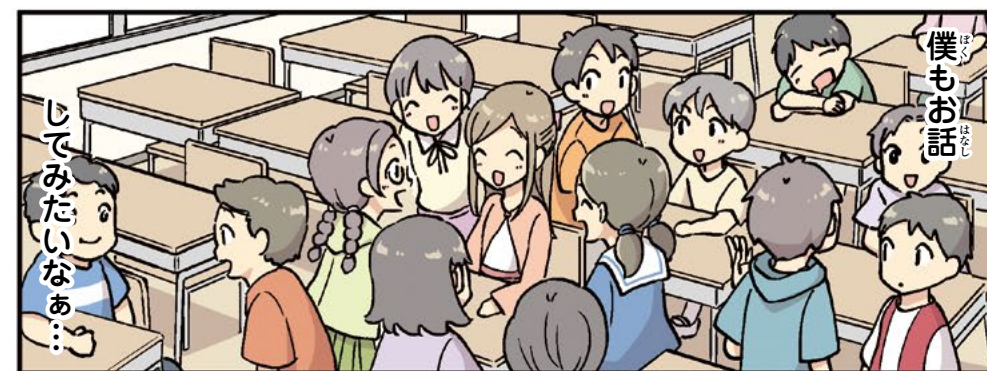
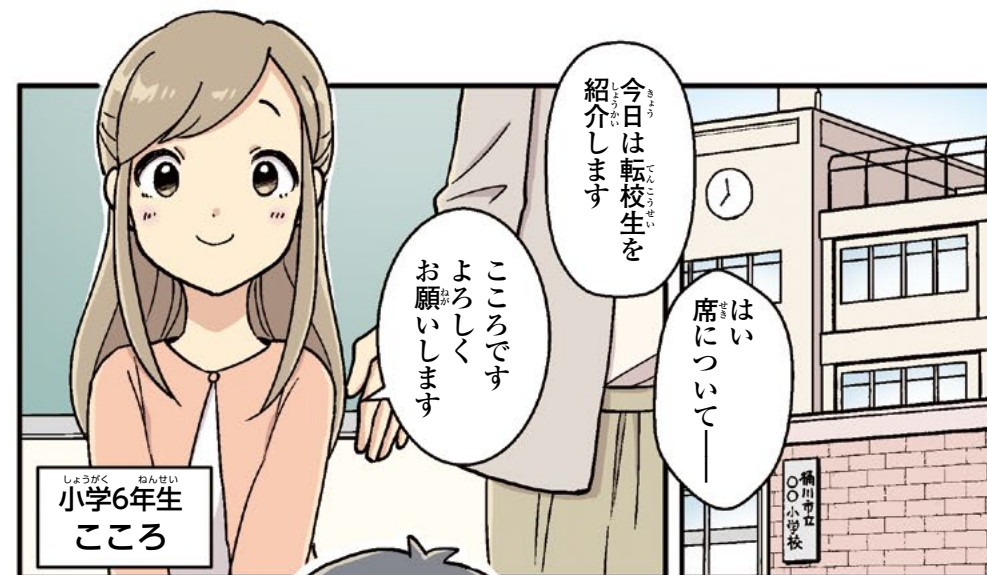
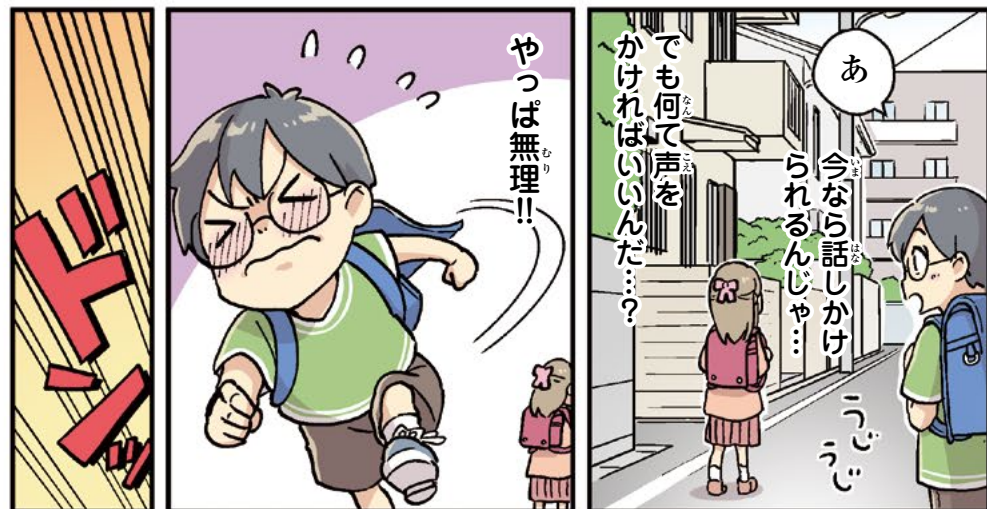
桶川市って どんなところ?



桶川市市制施行
50周年記念誌

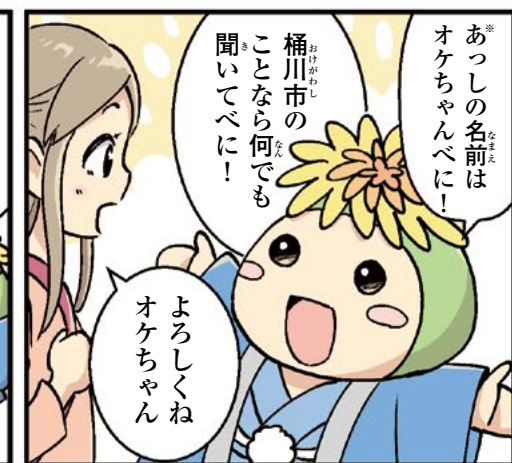
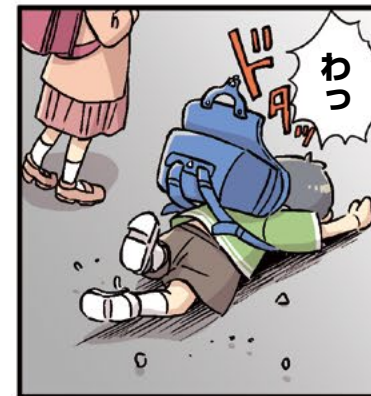
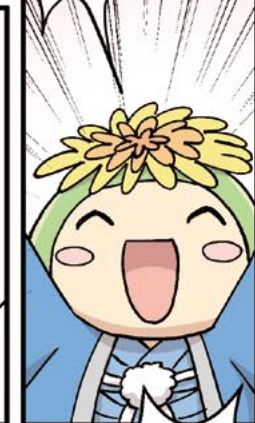


～まんがでふりかえる桶川の歴史～



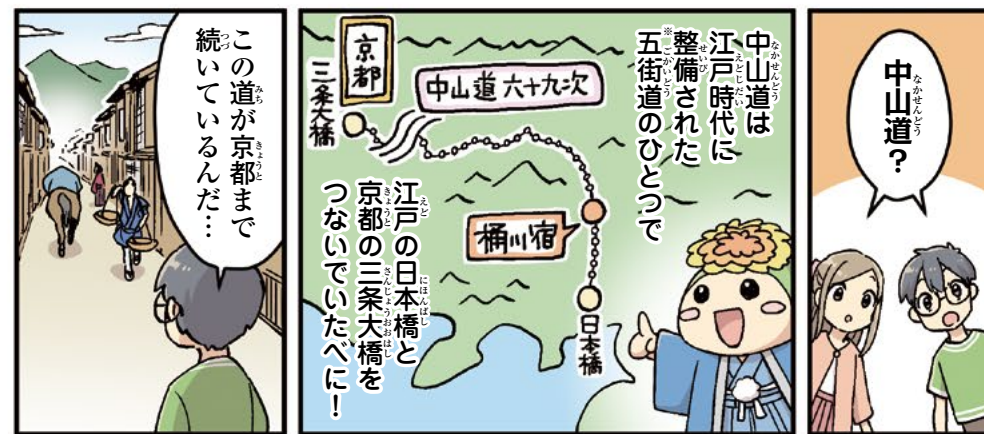
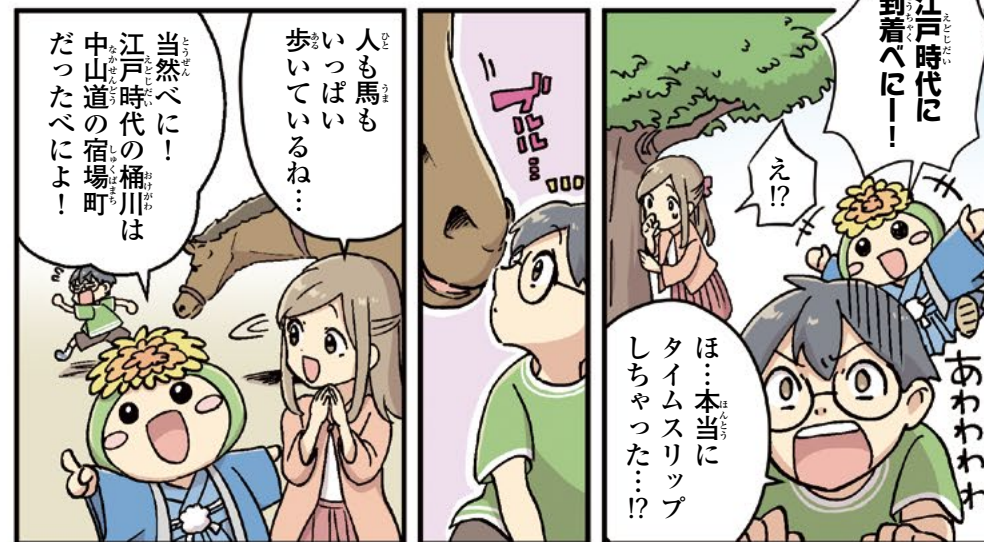
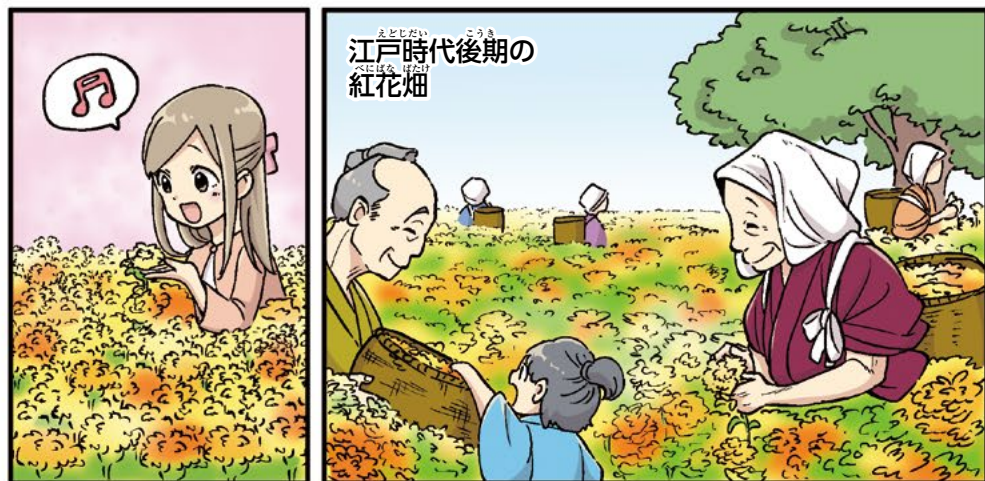
※宿場町：地位の高い人が泊まる建物や荷物を運ぶ馬と人がいる施設を中心に発展した町のこと。

※百聞は一見にしかず：「人から何度も聞くより、一度実際に自分の目で見たほうがよくわかる」という意味のことわざ。

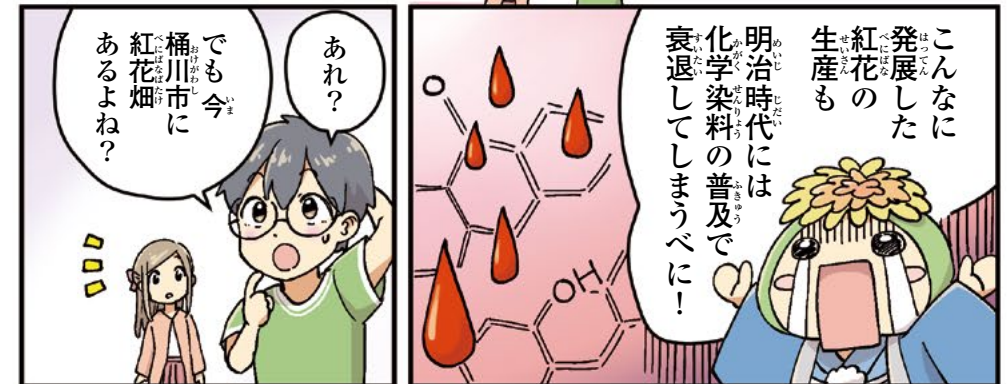
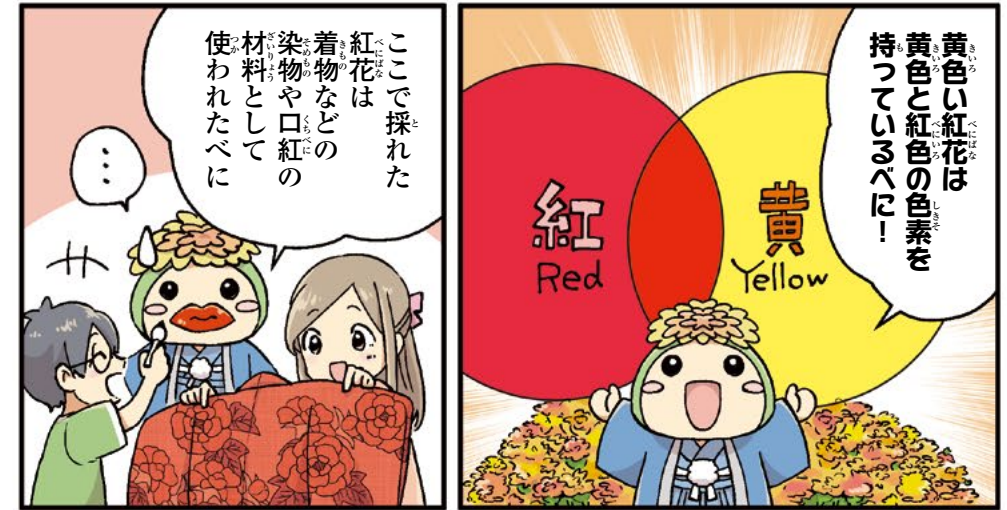
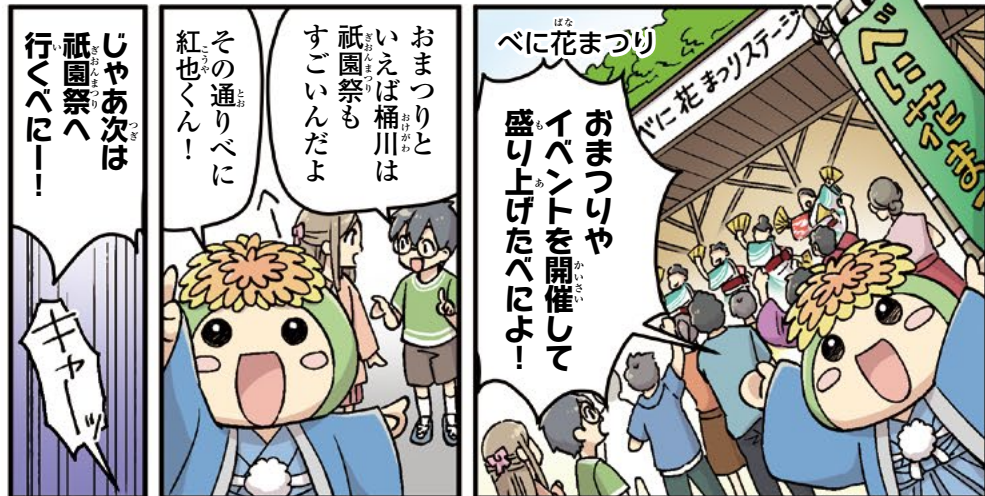
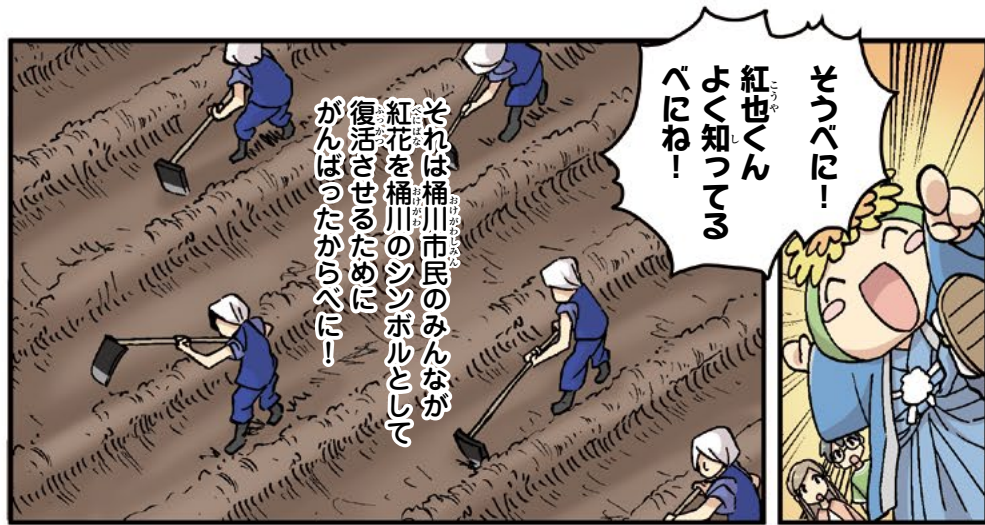


※オケちゃんは自分のことを「あつし」と言うべに。

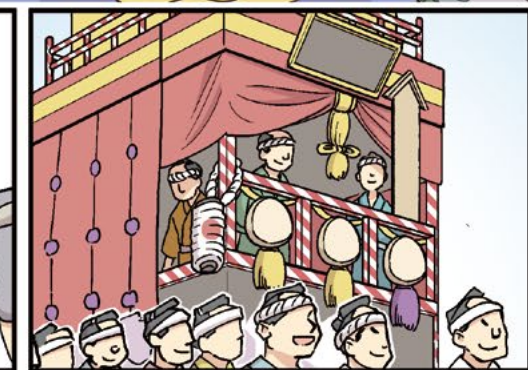
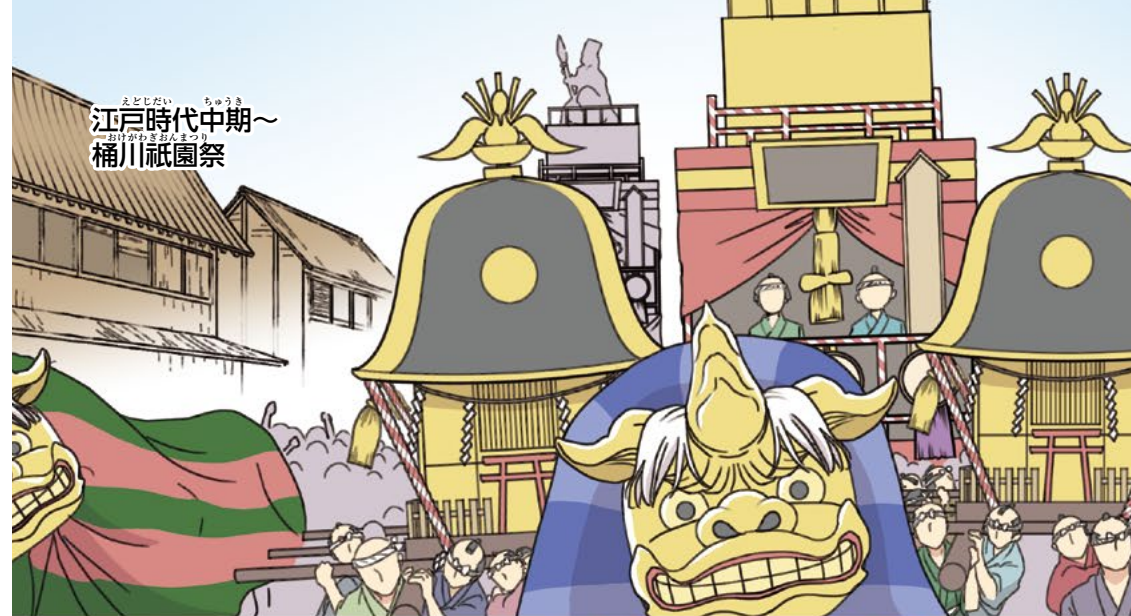
※集散地：生産地から物を集めて、消費地へ送り出す所。



※五街道：江戸を起点とする、東海道、中山道、甲州街道、日光街道、奥州街道の五つの交通路。

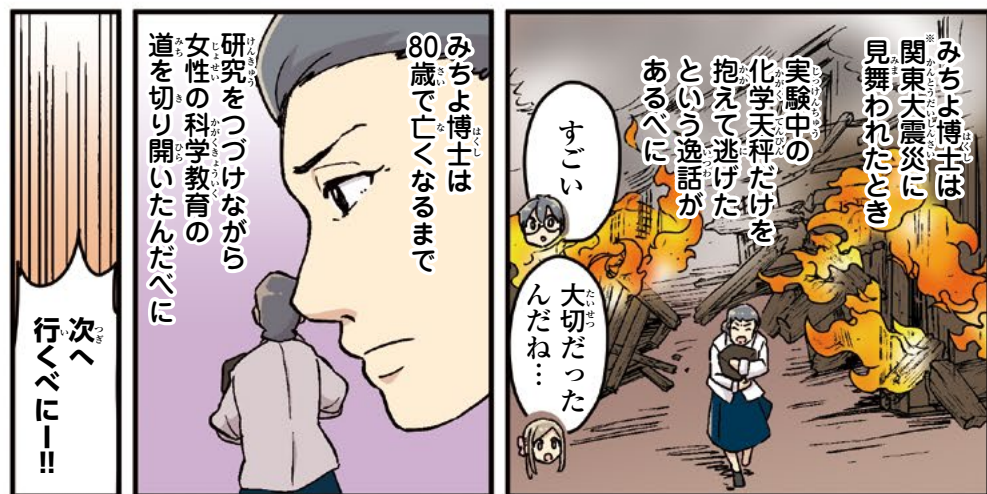
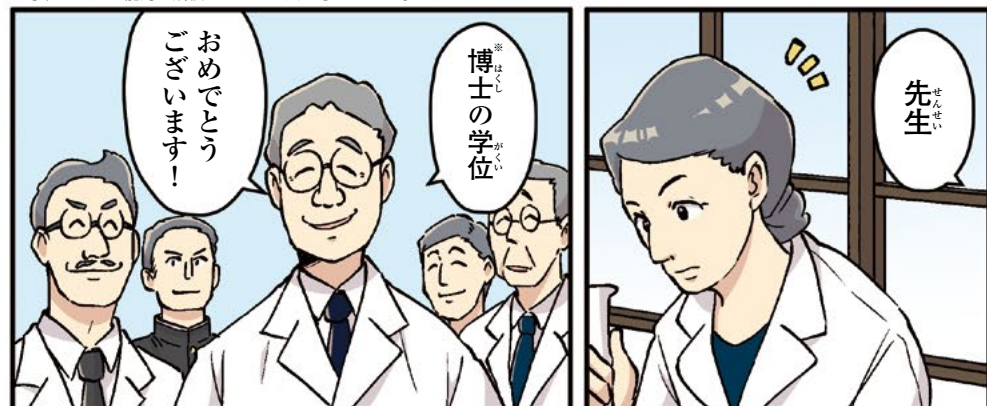


※当時、一反（約991m）あたり、米は2両、紅花はその倍の4両にもなり、江戸時代の終わり頃には、一大産地を上回る値段で取り引きされていたと言われています。

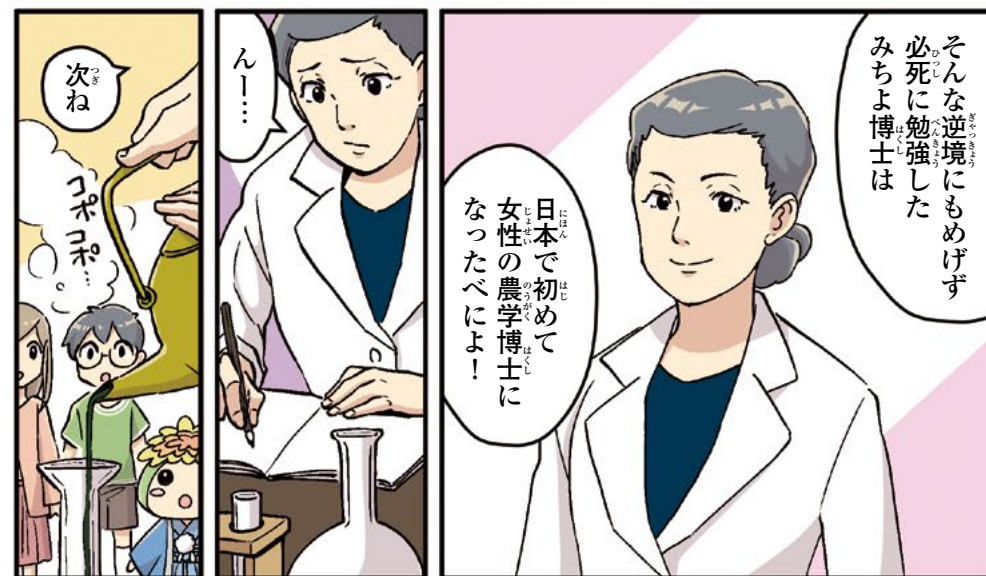
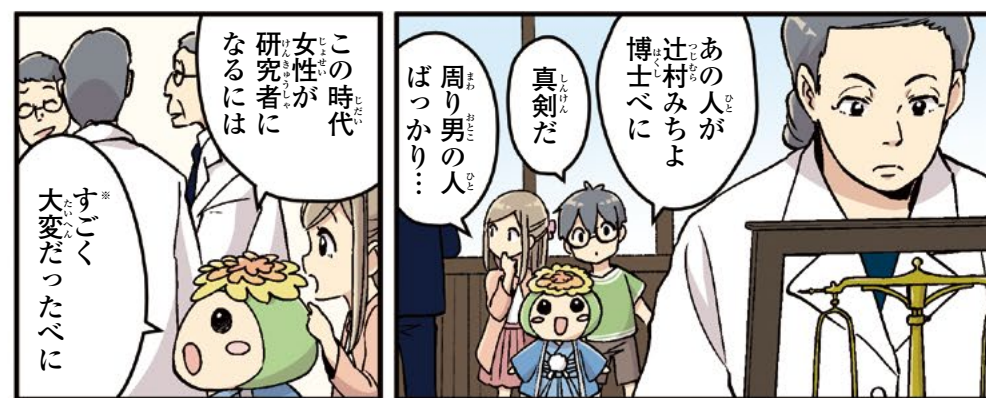
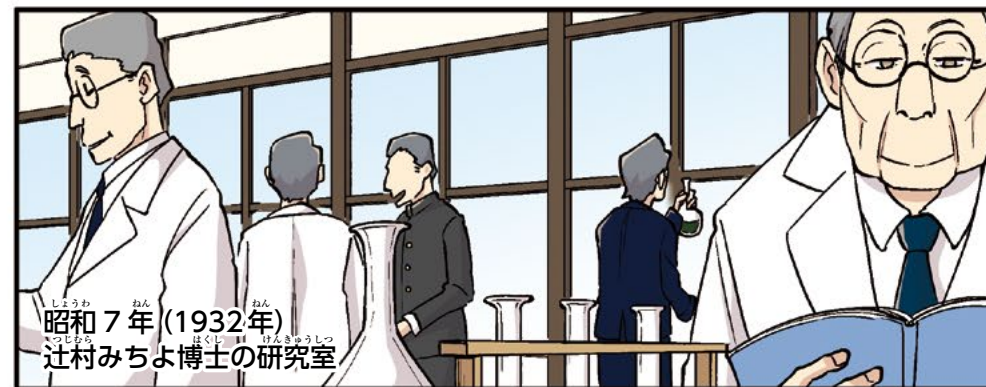


※市神社：中山道で行われていた市（くらしに必要なものを売り買いするところ）のにぎわいと地域の人々を守るため中山道の真ん中に建てられた社。

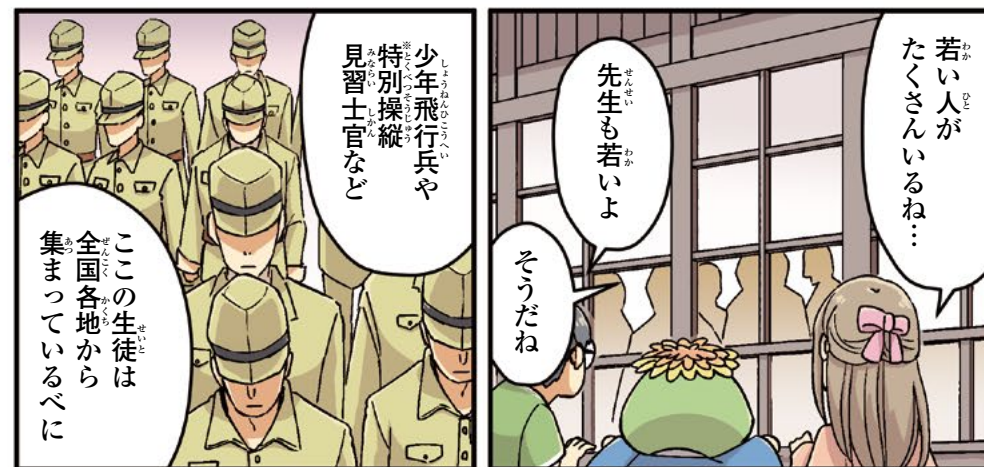
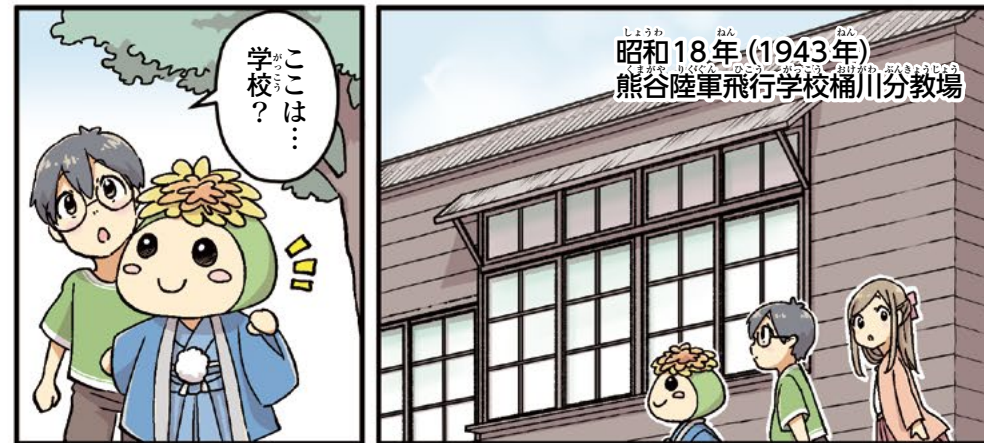
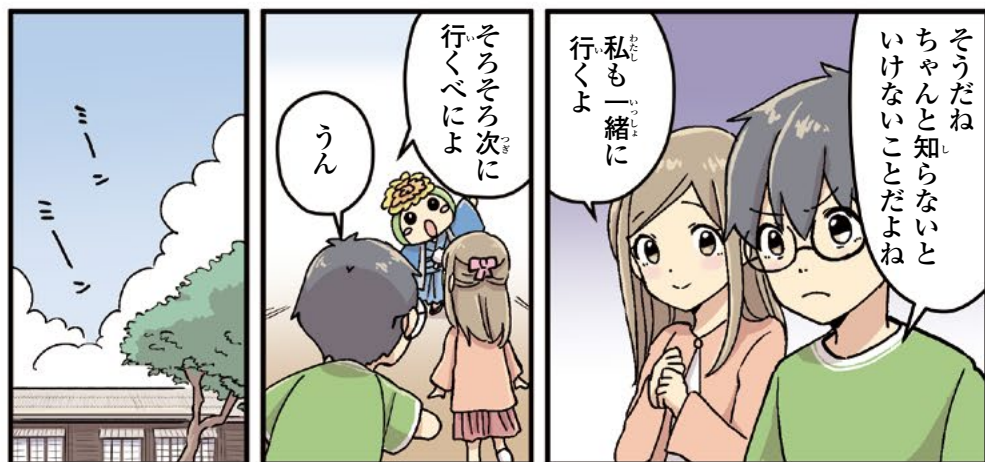
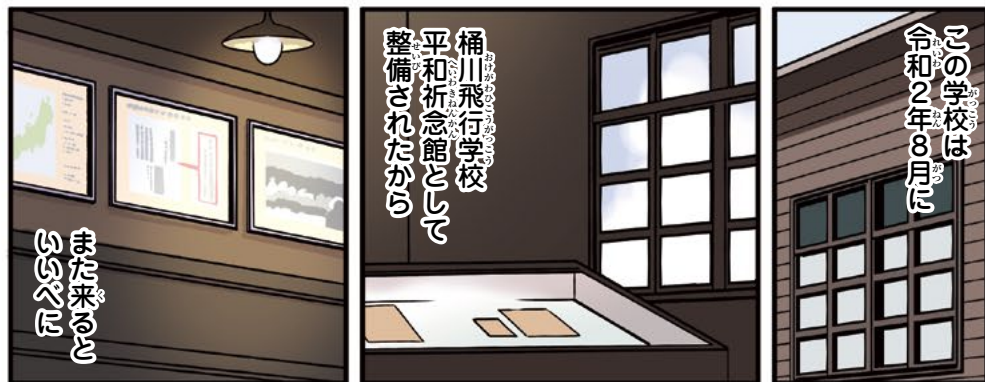
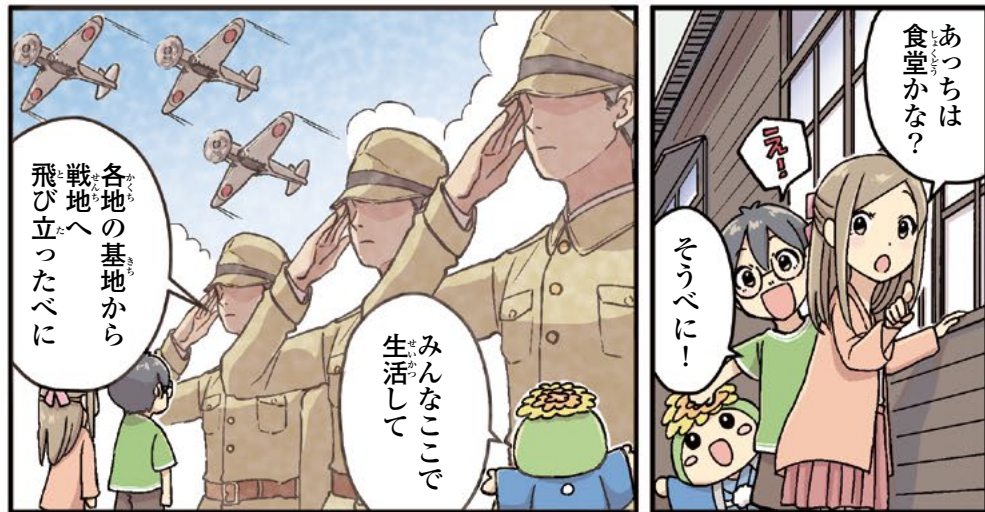
※学位：一定の能力や成績をおさめた人に与えられる呼び名。



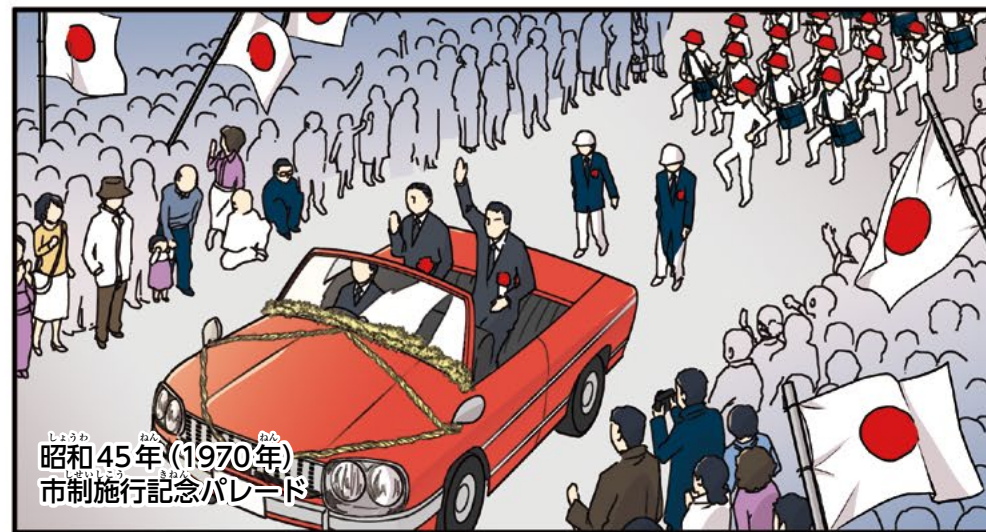
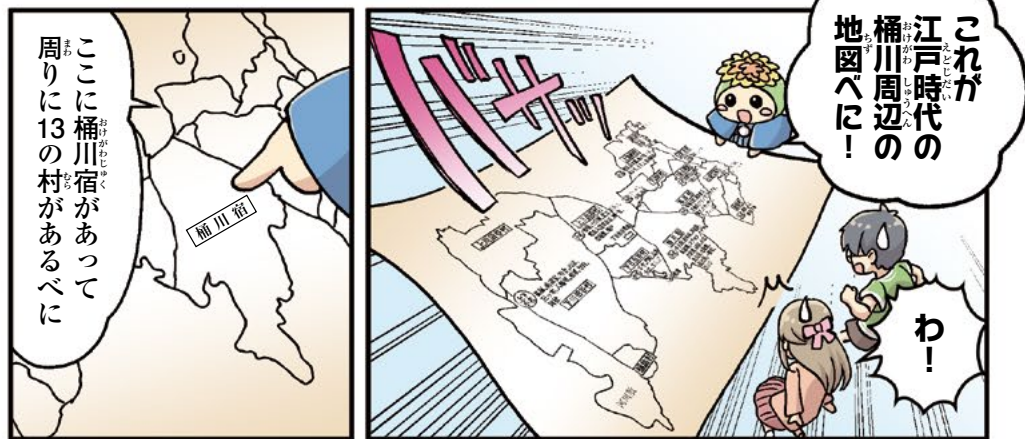
※関東大震災：大正 12 年 9 月 1 日に発生した最大震度 6 の巨大地震。

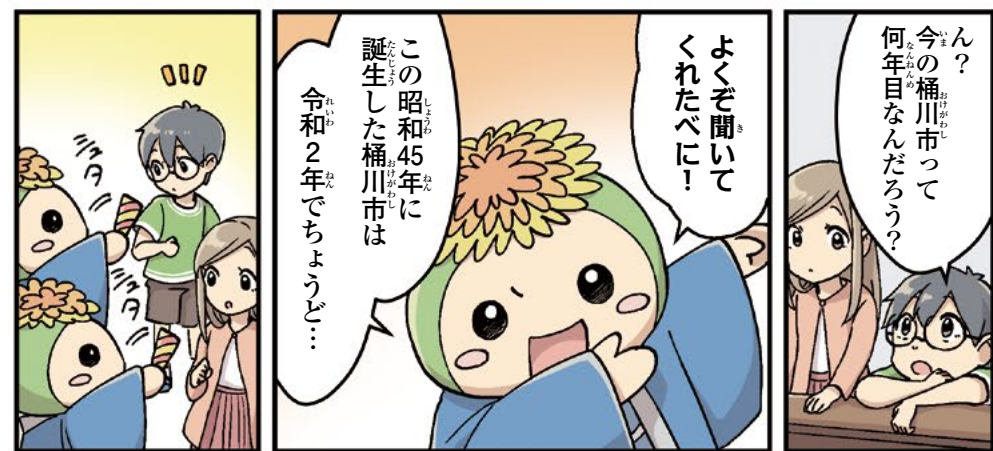
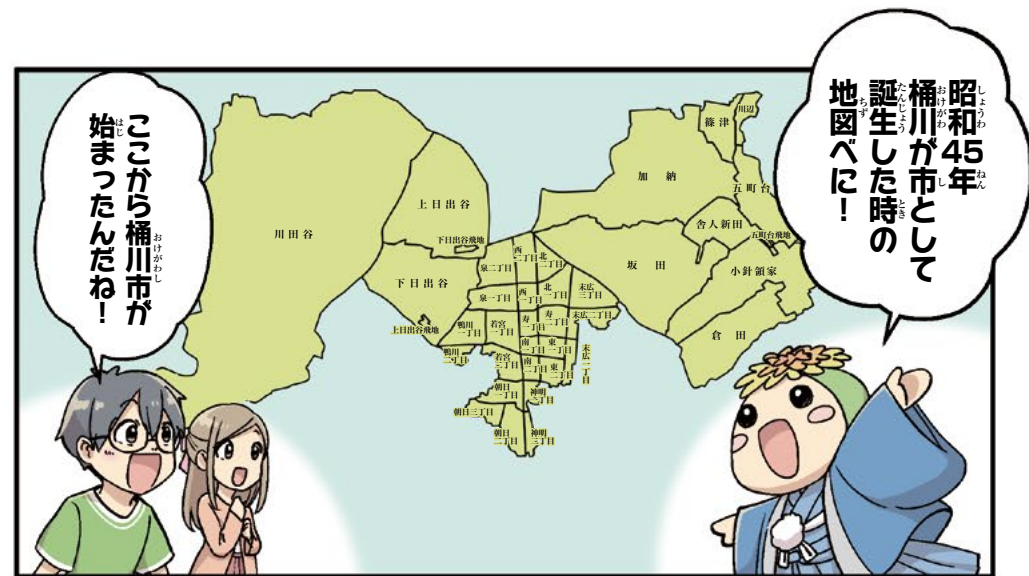
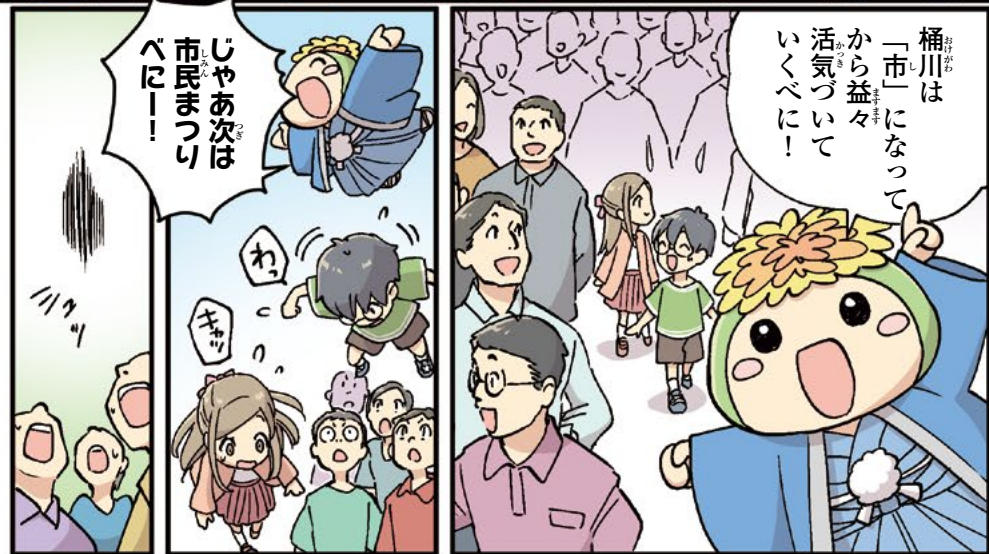


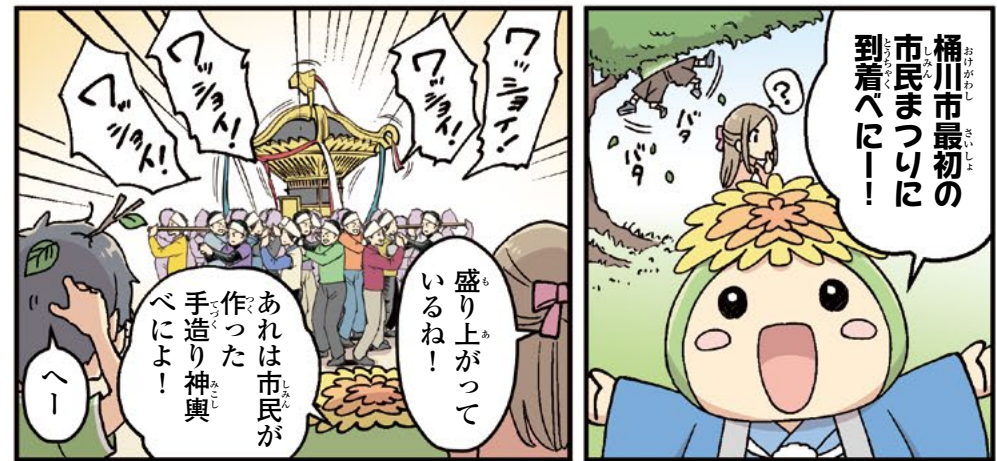
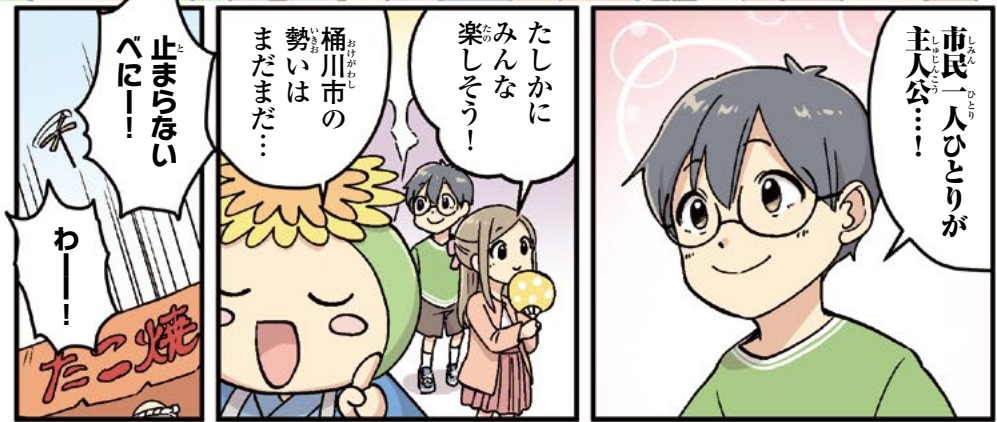
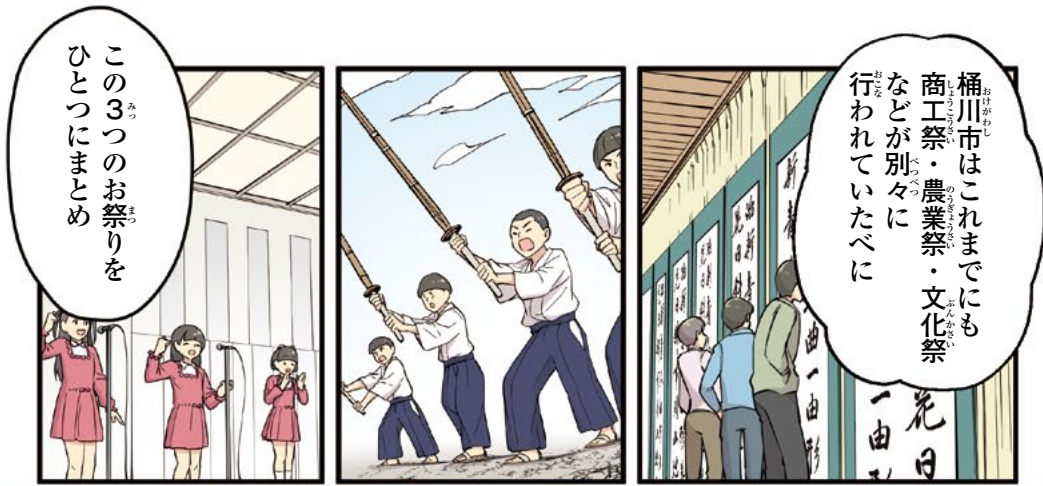
※当時、研究者になるには大学に進まなければならなかったが、女性の入学はほとんど許可されていませんでした。

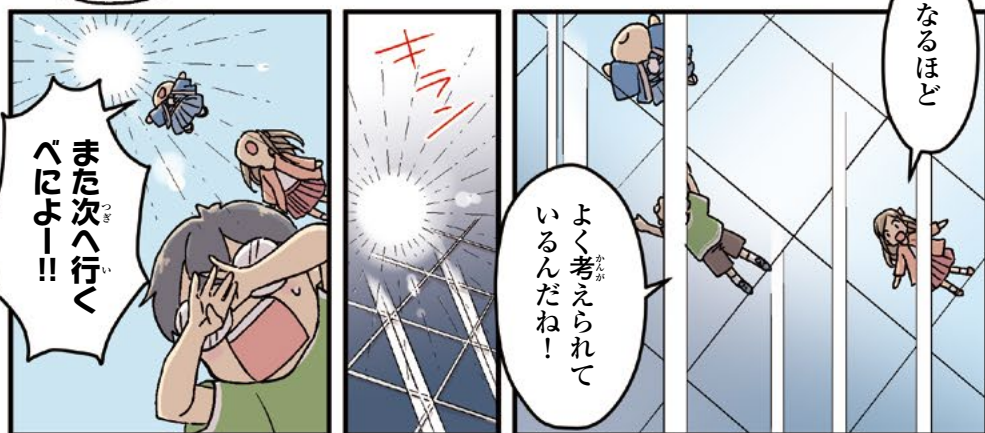
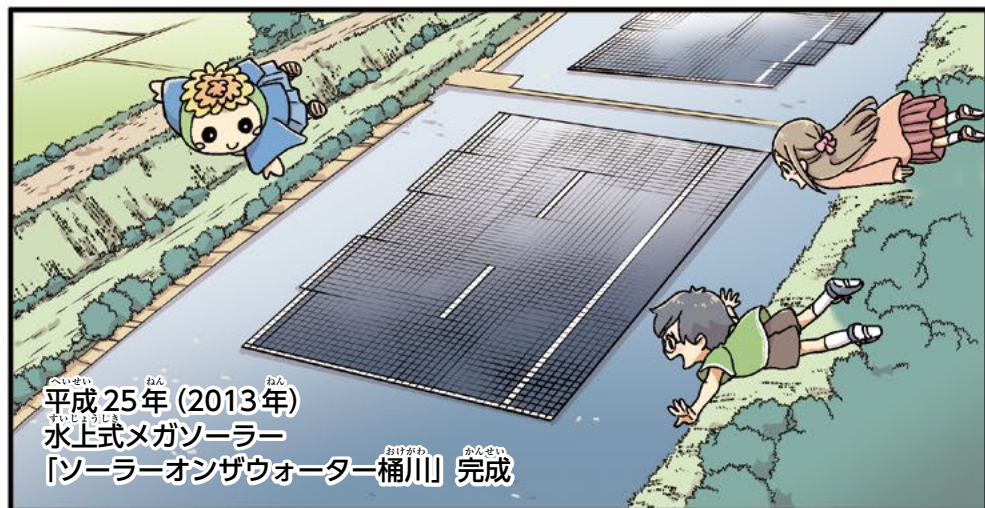


※特別操縦見習士官：大学生などを対象とし、短期間で飛行機のパイロットを育てる制度。1943年（昭和18年）に不足するパイロットを補う目的で制定された。

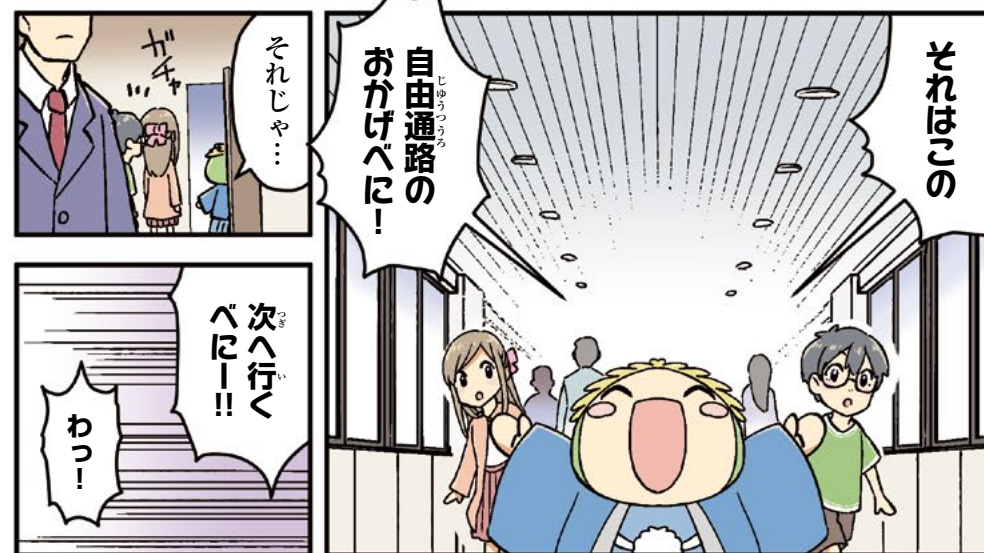
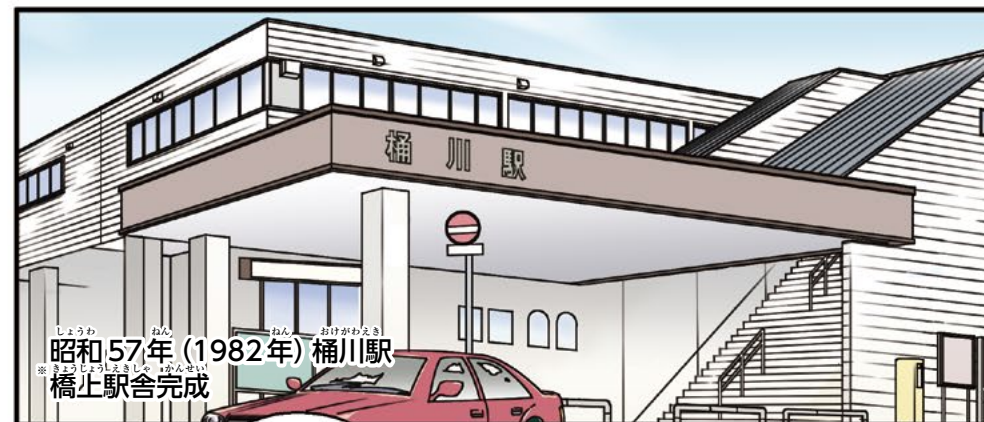




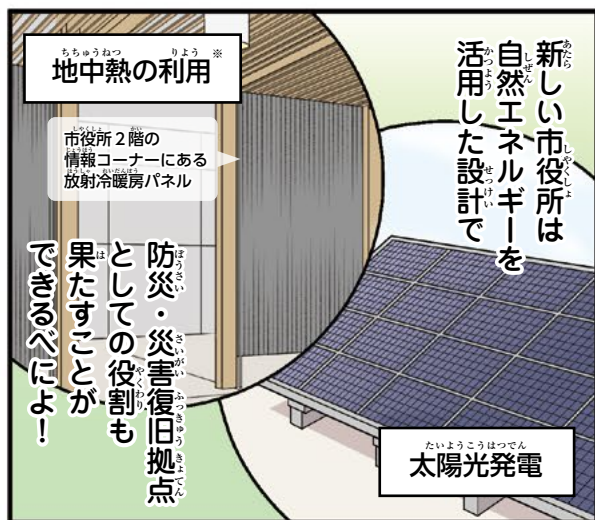




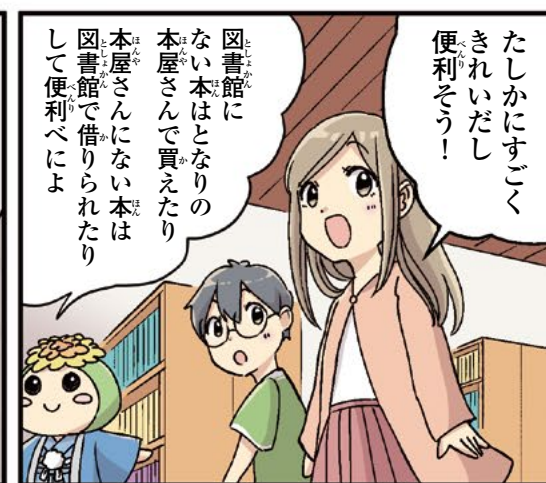
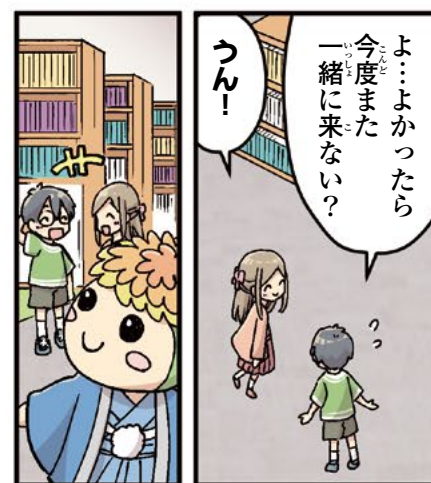
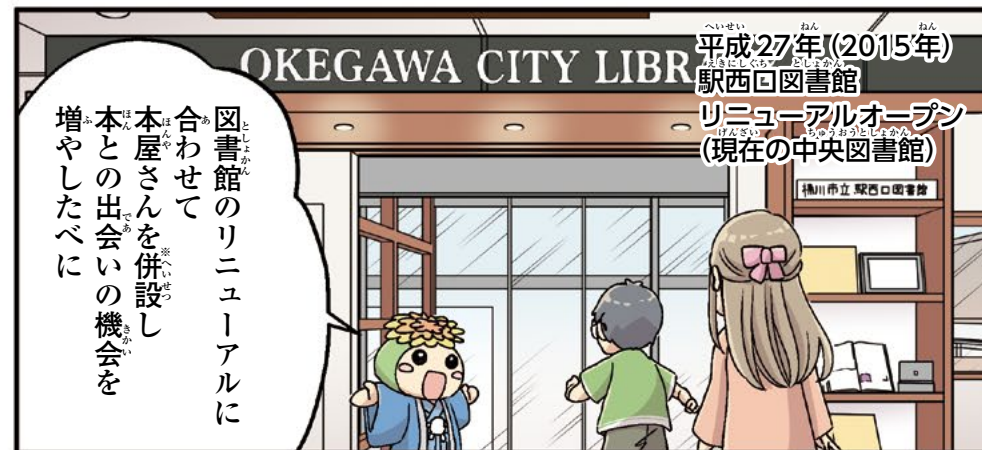
※「ソーラーオンザウォーター桶川」は62,000本の木が集まった森と同じだけ二酸化炭素を減らすことができると言われています。



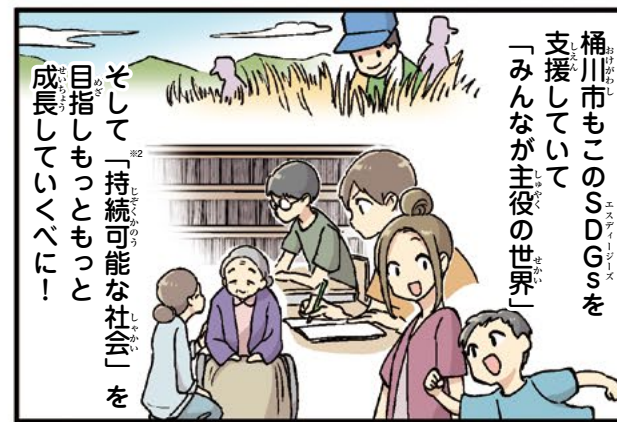
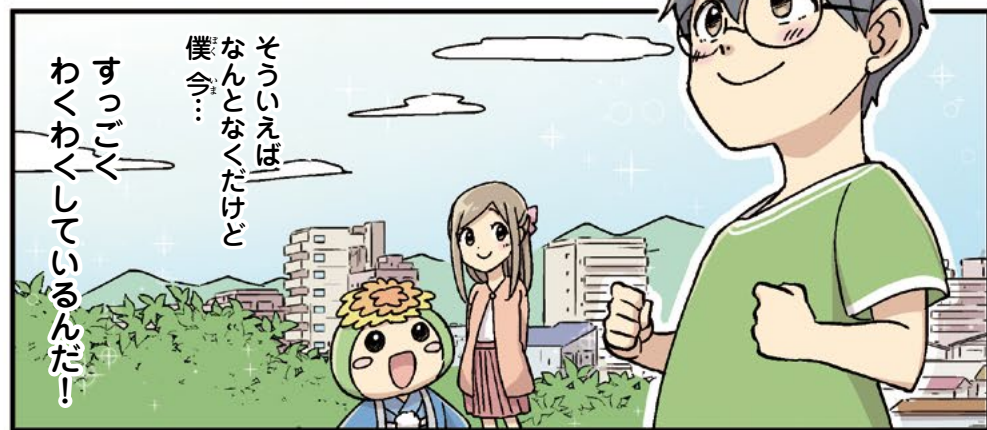
※橋上駅舎：線路をまたぐ橋の上に改札など駅の建物があること。

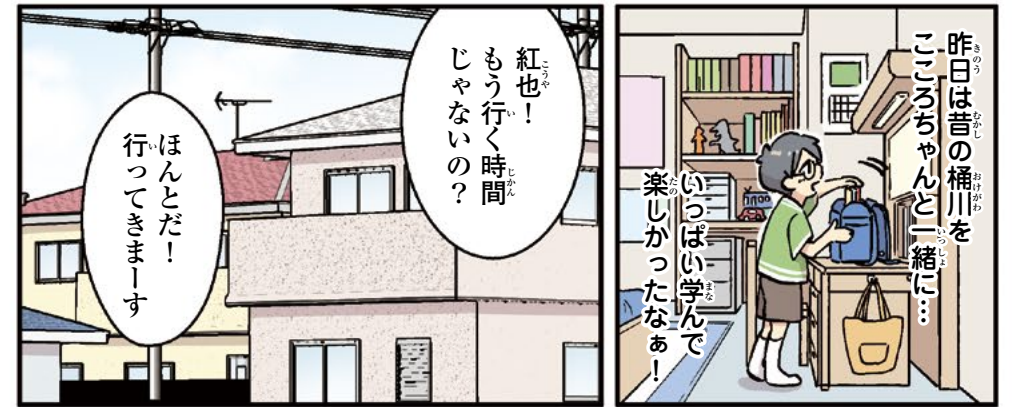
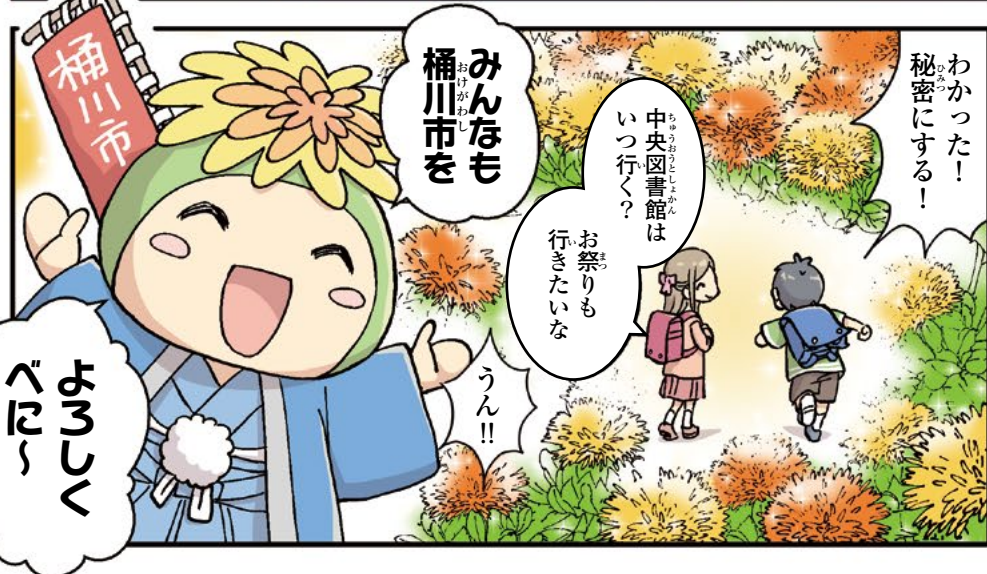
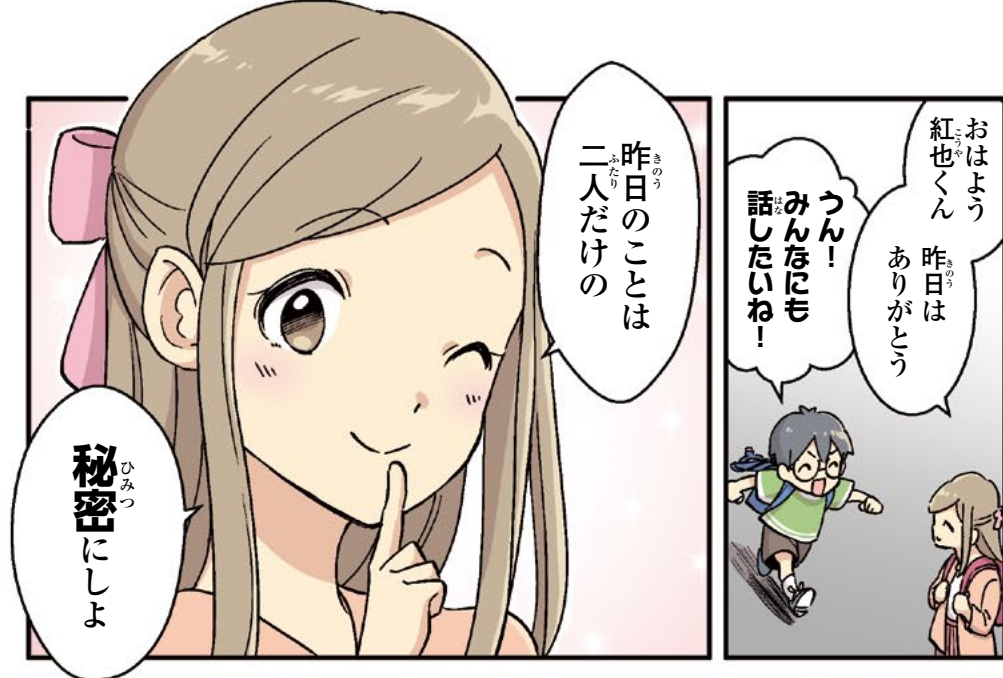


※桶川市役所では、地中熱を利用して室内を暖めたり、冷やしたりしています。



※併設: いっしょに設置・設備すること。





SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



エスディーゼー SDGsって何？

エスディーゼー ザステイナブル デイバロップメント ゴールズ

SDGsはSustainable Development Goalsの略称で「持続可能な開発目標」という2015年に国連総会で定められた「誰一人取り残されることなくこの地球で暮らし続けることができるように世界が達成するべきゴール」のことです。貧困や格差の解消、教育や保健の充実、気候変動への具体的な対策など、世界中で取り組むべき17の目標が掲げられています。



エスディーゼー SDGsは未来をつくる「道しるべ」

エスディーゼー

SDGsの17の目標は、これからの世界を創っていく皆さんが、何を、どんな未来を目指せば良いかを示す「道しるべ」になります。

皆さん一人ひとりが、これらの目標について考えたり、問題を解決するための仲間を見つけたりと「自分事」としてとらえ、一歩踏み出すことが大切です。柔軟な発想で取り組むことで、今までに経験したことのない変化に富んだ新しい社会を乗り切っていきましょう。

